

広川 良子 選

特  
選

打ち水があつという間に消えてゆく

福山暁の星小学校五年 小川凜太郎

【評】暑さを鎮めるための打ち水だが、それがあつという間に消えてしまった。計り知れない暑さを見事にとらえた。

弟の初挑戦はラムネ飲む

県立三原高等学校一年 宗近 暁仁

【評】初めてラムネを飲んだ弟のくしゃくしゃの顔がうかぶ。ちよつと心配しながらも、やさしく見守っている。

雲一つ無い青空に白い蝶

三次市立八次中学校三年 丸岡ひまり

【評】俳句の基本。天と地をよく見て自然を詠みとった。見渡す限りの青空が白い蝶の行方を応援しているのだ。

香り立つ甘いトマトと祖父の顔

呉市立川尻中学校三年 田原 暖

【評】祖父の畑でとれた新鮮なトマトの香りに、ふと育ててくれた祖父の顔が浮かんだ。感謝の心でもある。

夏の海終わりを知らぬ波の音

県立呉商業高等学校三年 船越倫太郎

【評】当然といえば当然であるが、その自然の摂理を浜辺で詩的に感動でとらえた。

入  
選

砂日傘二足の靴の見張り役

呉工業高等専門学校三年 岩部 想

風光る少しつぶれた目玉焼き

県立尾道北高等学校一年 北口 美結

カブトムシまだ小さいよせいちようしてね

海田町立海田小学校三年 三井 昊

汗光る自転車通学二十分

県立三原高等学校一年 白須 彩葉

早起きが集まるホーム跳ぶかえる

県立尾道北高等学校一年 若木 爽香

夏近し大の字で寝るなまけもの

呉市立川尻中学校三年 松林 那奈

音と汗風のいたずら音楽室

福山市立幸千中学校三年 筒井るりか

くつきりと浮かぶ日焼の誇らしく

呉工業高等専門学校三年 武田 康志

祖母の家みんな集合益休み

呉市立呉高等学校二年 丹下 歌恋

せみないて友達の声きこえない

坂町立横浜小学校六年 陳 とう

雨音に鳴いてあらがう雨蛙

呉市立呉高等学校二年 山下璃亜奈

ハンカチを渡した君は勝ち笑顔

呉市立呉高等学校三年 岩畔 奈津

夏の空雲ひとつなく光さす

海田町立海田小学校四年 勝田 亜未

北風で紙ひこうきがとんでゆく

海田町立海田小学校五年 奥田 亮成

夕焼けに皆で流した大涙

呉市立呉高等学校三年 上村 優菜

更衣室夏の匂いがつまってる

県立三原高等学校二年 柏 美空

カーネーション母にあげたら笑顔かな

府中町立府中小学校六年 浦井 惺成

カタツムリのろのろあるくのんびりや

府中町立府中小学校四年 近藤 暖真

母の日に感しゃを伝えはぐをする

大竹市立大竹小学校五年 坂本 歩

父の日に花束ではなくお酒をね

府中町立府中小学校六年 鳥井菜々花

広川 良子 選

特選

百回は来たきと待つ子海開

福山市 池上 幸子

【評】待ち遠しかった海開。元氣な子供の武者ぶるいして待っている様子。百回とは大袈裟だがそれほど海の好きなきな子。

床の間に二人の太郎子供の日

広島市 小林 盈

【評】子供の日、二人の男児の生長を願って飾られた武具や五月人形に、二人の太郎とはめでたくもよろこばしい。

日と風にミストとなれる滝しぶき

福山市 嶋山 洋子

【評】高所から落ちてくる滝しぶきを現代的にミストと捉えた。七色にかがやく虹色。瞬間を見逃さなかった俳句の眼。

こぼれたる白のうつろひさるすべり

安芸郡府中町 石橋 康徳

【評】的確な写生。枝先では眩く真白に揺れていたさるすべり。散つてわずかづつ白色の衰えてゆく様子が妙。

海峡の花火次々海に消え

尾道市 小畑 宣之

【評】海を染め打ち上った海峡の花火。又その花火が海に消えた。当然といえは当然。しかしその着眼点を称えよう。

入  
選

抱き上げて童にふつと母の香

福山市 瀬尾ちとみ

広げたる祝詞の染みや山開

福山市 林 万理子

人集り大蛇を首に巻きつけて

広島市 川近 輝子

背負はれて媪出水を逃れをり

福山市 渡辺 素子

観音の思惟の指の秋思かな

尾道市 砂田 千春

籐寝椅子家風家訓のなきくらし

安芸郡府中町 大久保信子

学童のハイタツチ待つ立葵

福山市 竹村 丙喜

借景に城を絡めて薔薇祭

福山市 浜本 直子

虹消えて原爆ドーム残りけり

福山市 田村祐巳子

夏空にパリの風吹く日章旗

東広島市 腰本 直山

一雨の欲しき極暑に負けてをり

福山市 貝原 玲子

軍手の子魚つかみ取る夏祭

豊田郡大崎上島町 底押 悦子

叱られし子の水切りや風光る

福山市 池田 律子

ふる里へ二つ山越え萩の花

広島市 松本壽賀子

バス停の手話の笑顔やあたたかし

呉市 上野 芳江

春雷の突と一喝午前四時

福山市 濱田喜代恵

夫婦岩野分の波も動じざる

福山市 戸原 澄清

あいまいな相槌を打つ古団扇

福山市 栗本 リカ

花火屑拾ふ朝の浜辺かな

広島市 吉田紀久子

紙漉きのなごりの水車河鹿鳴く

福山市 内田 千年